

夢中を育む。



決算補足資料

2025年2月期 第2四半期（中間期）

株式会社イオンファンタジー

2025年2月期 第2四半期（中間期）

目次

連結決算概要

重点取組み概要

1. 国内事業
2. 海外事業
 - アセアン事業
 - 中国
3. サステナビリティの取り組み

連結業績予想

単体資料

2025年2月期 第2四半期（中間期）

連結決算概要

売上高、営業利益ともに中間期として過去最高、計画を上回る

- 償却前営業利益は80億83百万円と、前期から11億57百万円の増加

2024年3月1日～2024年8月31日	2024年2月期 中間期	2025年2月期 中間期	対前年同期 (百万円/%)	
			増減額	増減率
売上高	40,840	43,920	+3,079	7.5
売上総利益	5,281	6,403	+1,121	21.2
営業利益	2,024	2,870	+846	41.8
為替差損益	576	△ 541	△ 1,117	—
経常利益	2,441	2,014	△ 427	△ 17.5
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,181	373	△ 807	△ 68.3
1株当たり中間純利益	+59.75円	+18.91円	△40.84円	△ 68.3
償却前営業利益	6,926	8,083	+1,157	16.7

国内・アセアンの好調により中国の回復遅れを吸収、計画を上回る

- 国内…売上高・営業利益ともに過去最高を更新（上期）
- アセアン…売上高・営業利益ともに3期連続で過去最高を更新（上期）



2024年3月1日～2024年8月31日

	売上高			営業利益		
	2025年2月期 中間期	前年同期比 増減率	公表数値 進捗率	2025年2月期 中間期	前年同期比 増減額	公表数値 進捗率
国内	34,776	+9.4	51.9	3,351	+1,487	69.8
アセアン	6,389	+19.6	53.2	742	+5	51.2
中国	2,865	△ 24.8	36.0	△ 1,222	△ 639	—
海外計	9,255	+1.1	46.4	△ 480	△ 634	—
連結計	43,920	+7.5	50.7	2,870	+846	50.4

連結貸借対照表

					(百万円/%)
	2024年2月期末		2025年2月期 中間期末		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	12,924	24.7	18,296	30.9	+5,371 ※1)
固定資産	39,378	75.3	40,882	69.1	+1,503
資産合計	52,303	100.0	59,178	100.0	+6,875
流動負債	37,652	72.0	35,420	59.9	△ 2,232
（短期借入金・1年内含む）	25,011	47.8	20,032	33.8	△ 4,979 ※1) ※2)
固定負債	6,109	11.7	14,646	24.7	+8,536
（長期借入金）	268	0.5	9,227	15.6	+8,958 ※2)
負債合計	43,762	83.7	50,066	84.6	+6,304
純資産合計	8,541	16.3	9,112	15.4	+571
負債純資産合計	52,303	100.0	59,178	100.0	+6,875

※1) 当中間期末における金融機関の休日かつ、一部夏休み期間売上の翌月決済による影響（45.7億円）

※2) 国内事業における短期借入金の長期転換（80億円）

2024年3月1日～2024年8月31日

（百万円）

	2024年2月期 中間期	2025年2月期 中間期	前期比増減額
営業活動キャッシュフロー	4,429	※) 2,581	△ 1,847
売上預け金の増減額（△は増加）	△ 1,245	△ 4,570	△ 3,325
税金等調整前当期純利益	2,178	1,629	△ 549
減価償却費	4,902	5,213	+310
法人税等の支払額	△ 322	△ 891	△ 569
投資活動キャッシュフロー	△ 4,976	△ 4,945	+30
有形固定資産取得による支出	△ 4,244	△ 4,397	△ 153
財務活動キャッシュフロー	1,306	2,213	+906
短期借入金の純増減額	3,590	△ 6,920	△ 10,511
長期借入金の純増減額	△ 655	10,841	+11,497
配当金の支払額	△ 98	△ 98	+0
現金及び現金同等物に係る換算差額	104	△ 10	△ 115
現金及び現金同等物の増減額	863	△ 160	△ 1,024
現金及び現金同等物の期首残高	6,058	7,491	+1,432
現金及び現金同等物の期末残高	6,922	7,330	+408

※当中間期末の金融機関による影響（34.5億円）を加味すると実質60億円のキャッシュを創出、前年同期比16.1億円の増となる。

新店 92店舗、閉店 52店舗 2024年8月末の店舗数は 1,207店舗

	アミューズメント		プレイグラウンド				合計		当期	
	標準店舗	戦略的小型店	大型店舗	標準店舗	戦略的小型店	その他	FC	新店	閉店	
日本	421	300	5	4	3	4	0	737	47	13
アセアン	62	47	6	150	25	0	5	295	26	8
インドネシア	1	1	3	33	1	0	0	39	4	0
ベトナム	8	2	1	14	7	0	0	32	2	0
マレーシア	52	33	1	28	8	0	0	122	9	5
フィリピン	0	0	0	58	4	0	0	62	5	1
タイ	1	11	1	17	5	0	0	35	6	2
カンボジア	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0
ミャンマー	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
中国	89	0	7	36	35	2	6	175	19	31
合計	572	347	18	190	63	6	11	1,207	92	52
事業合計	919		271			6	11			

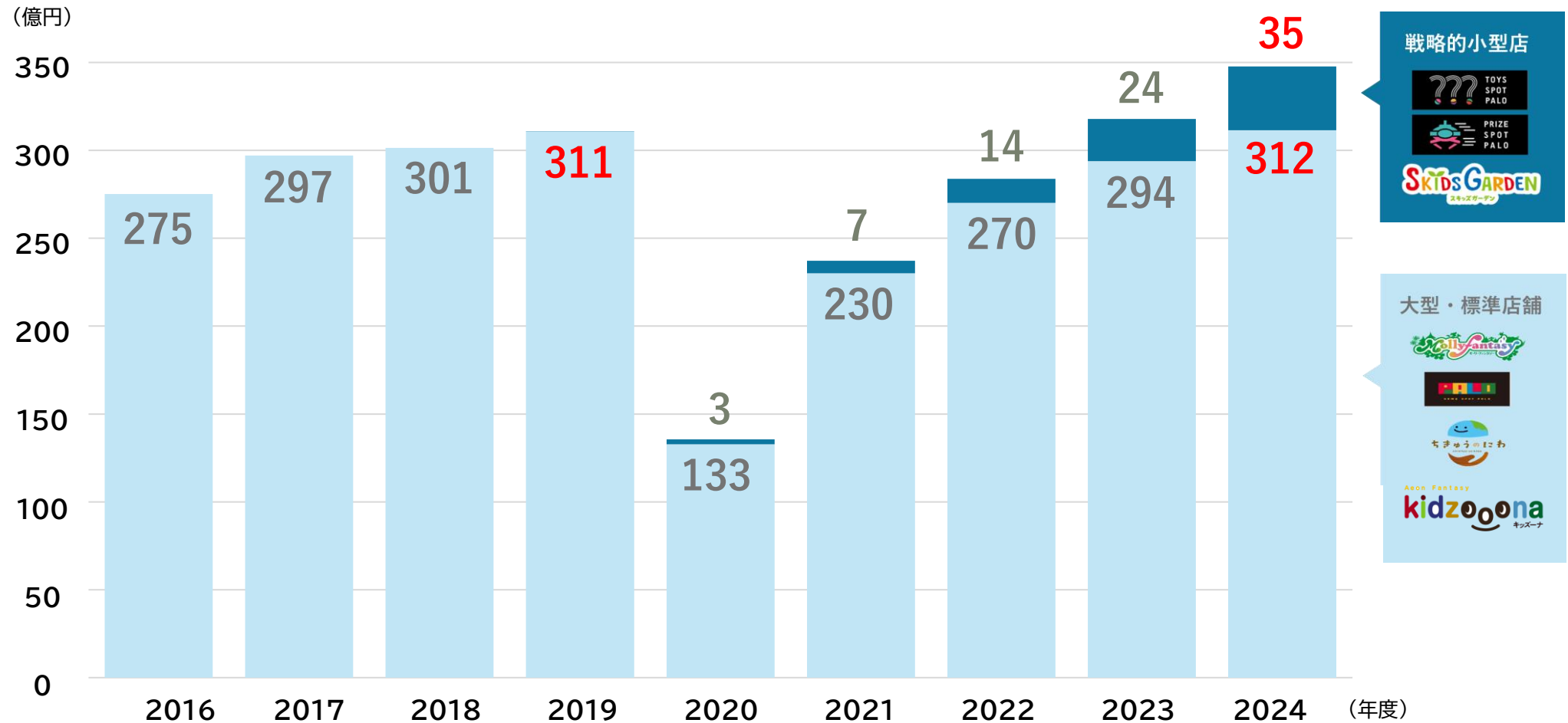
2025年2月期 第2四半期（中間期）

重点取組み概要

1. 国内事業

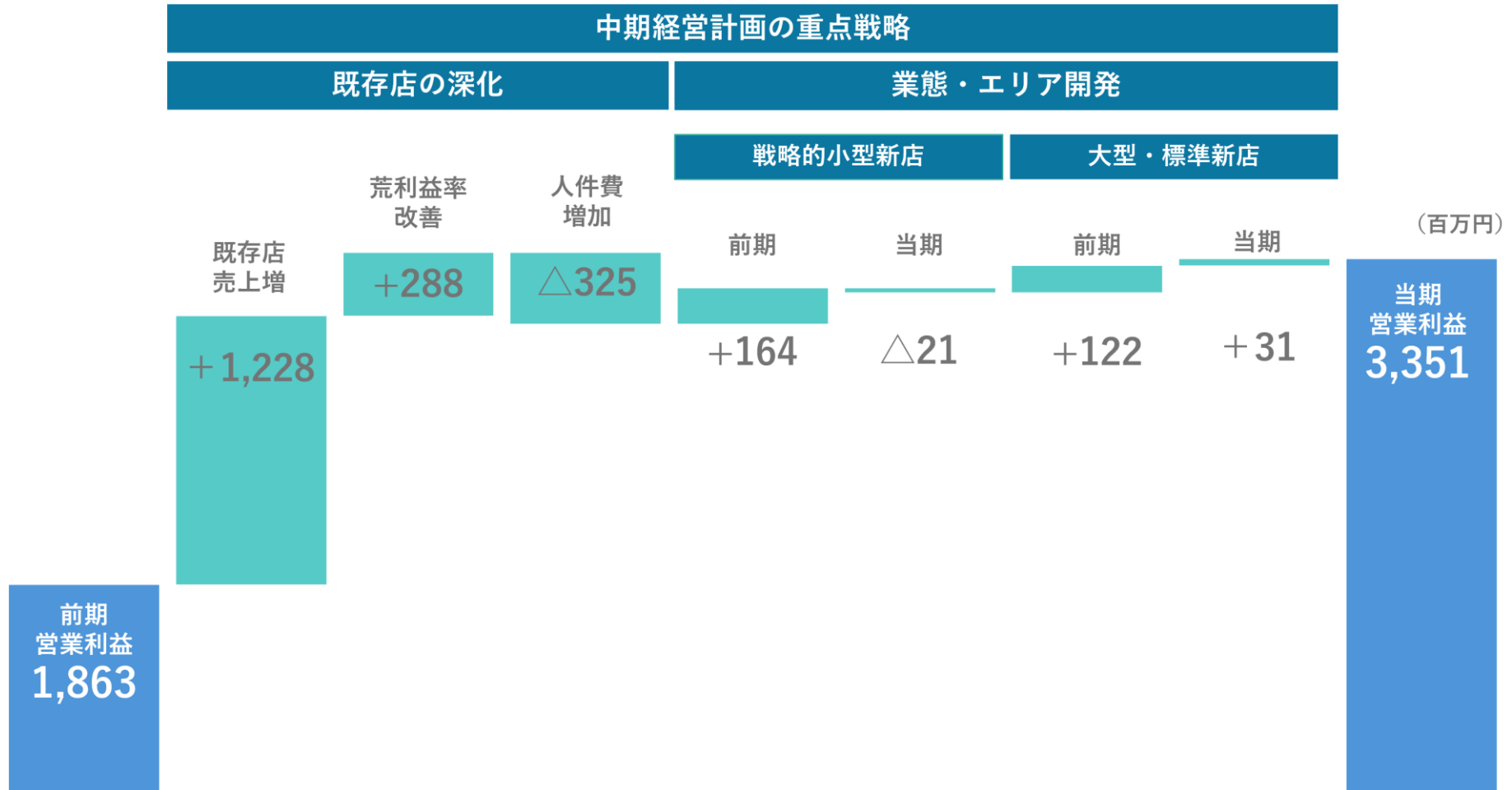
売上高 347億円と過去最高

- 大型・標準店舗は2019年度を上回る
- 戦略的小型店は35億円まで拡大



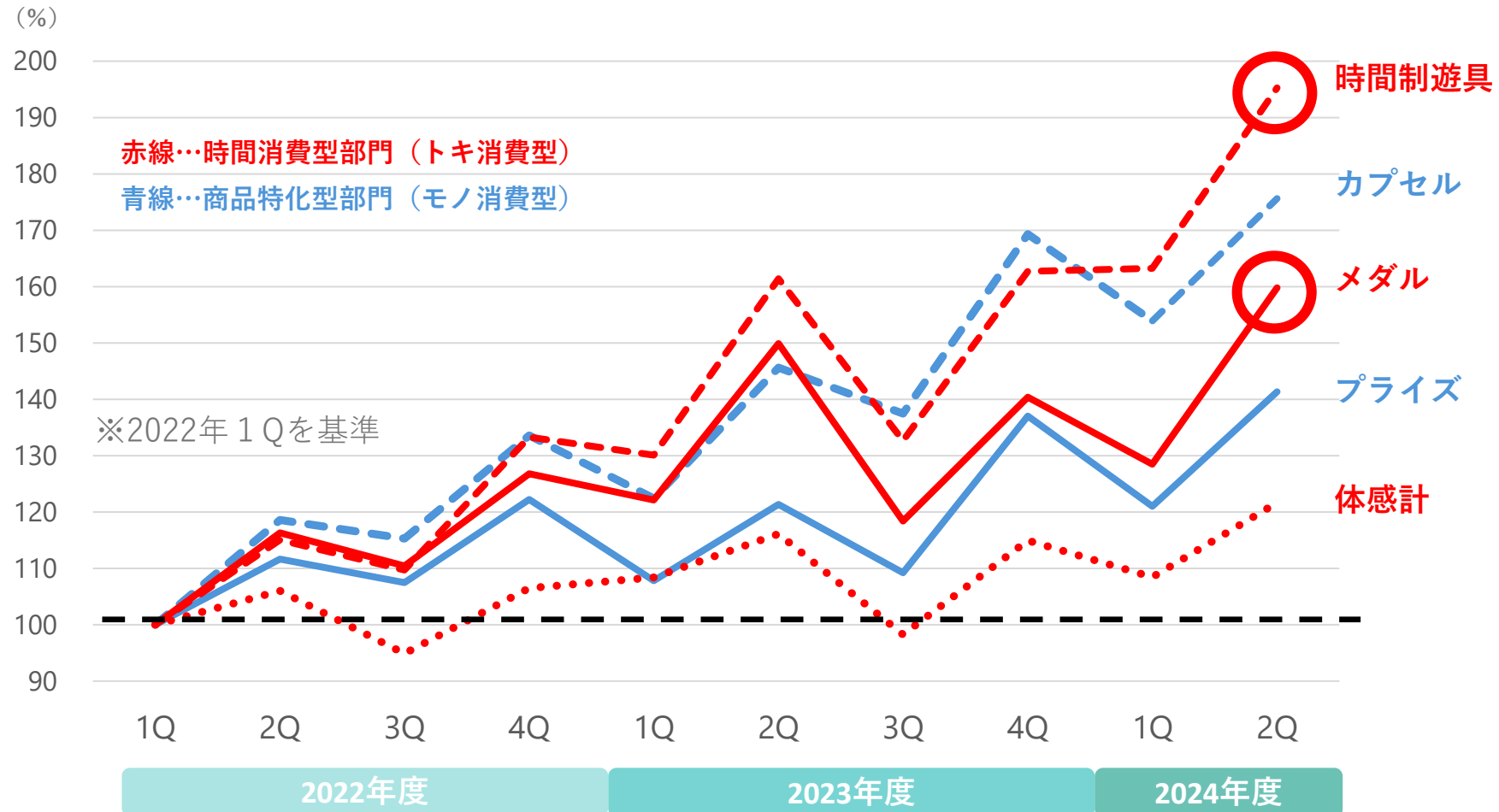
営業利益は前期から14億88百万円の増加

- 既存店は売上増加及び粗利率の改善、新店は新たな業態と新たなエリアへの進出による効果、当期新店は上期中に黒字化達成



各部門とも売上高は好調に推移

- 第2四半期では時間消費型のメダル部門と時間制遊具部門の伸びが顕著
- 今後、時間消費型のニーズが高まると想定し、強化を継続



キッズプライズの売上増加とIPに左右されない安定した収益基盤へ

- お子さま向けの展開を強化しプライズ部門を牽引
- 当社限定景品の継続導入及びとれやすいコーナーの拡大
- 部門内構成比は2019年度29.4%から41.8%と12.3%増加

キッズプライズ
売上高前年同期比

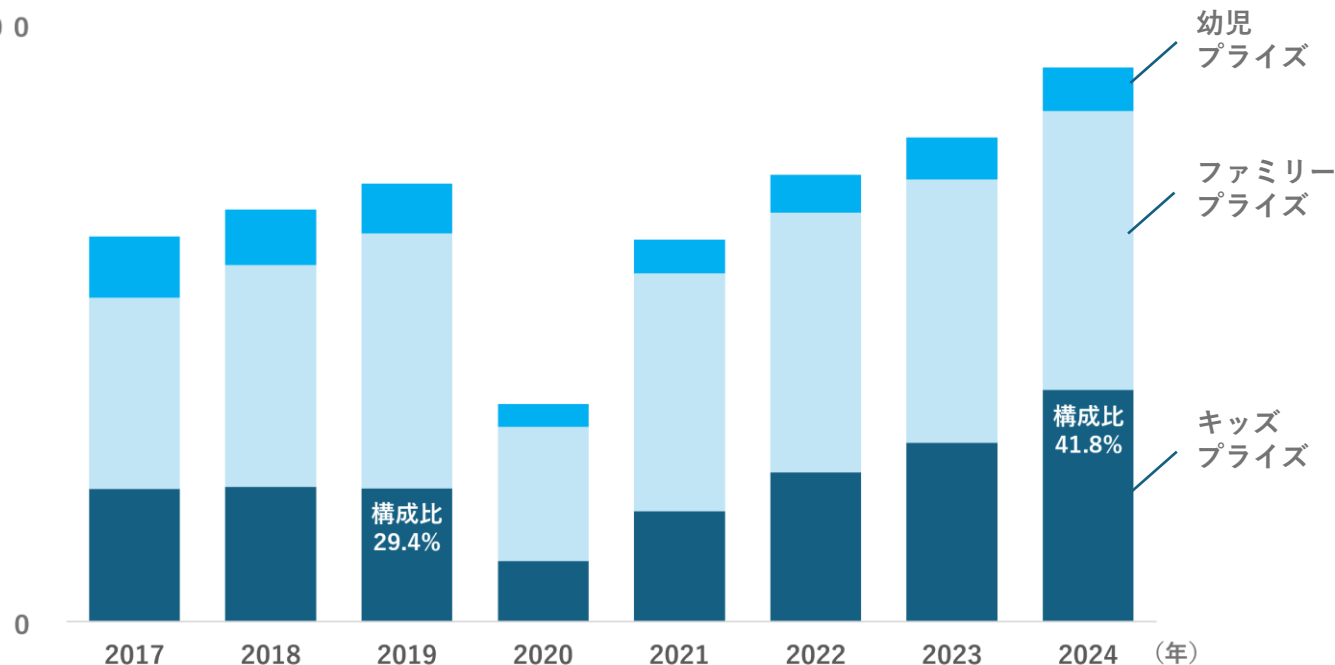
123.0%

2019年度比

174.1%

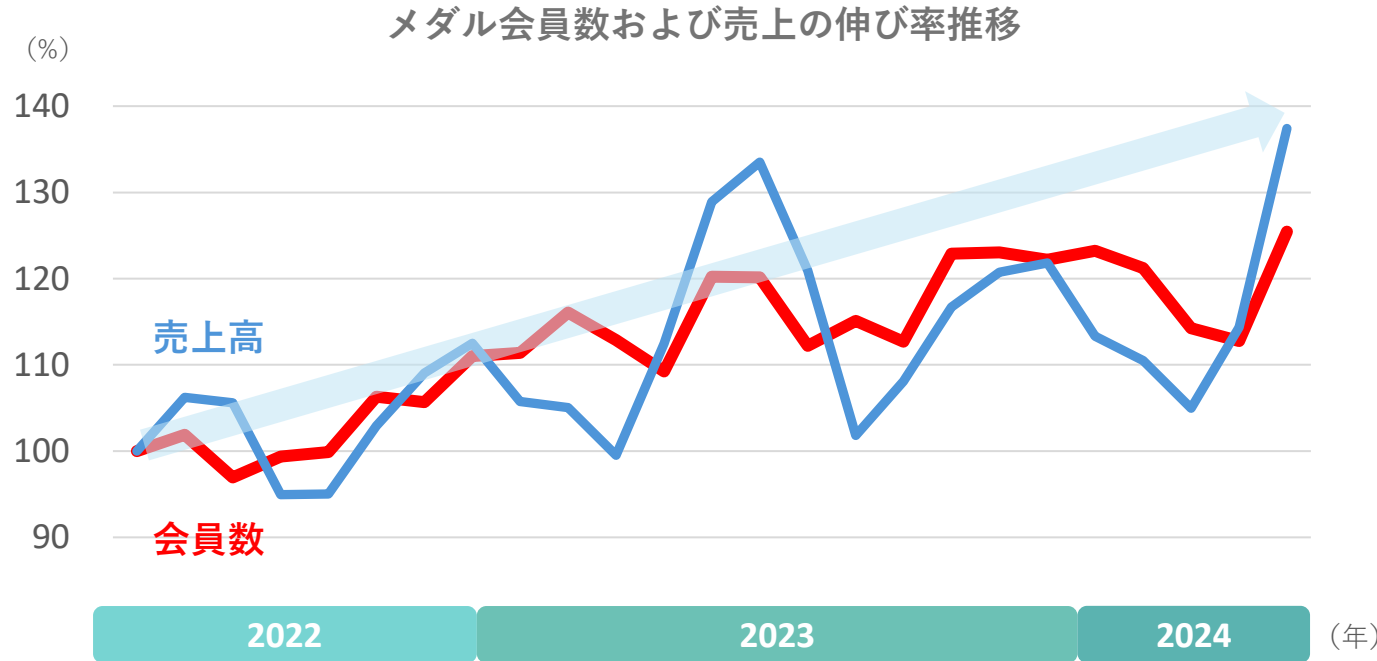
(億円)
200

プライズ部門内売上高推移（年度別・上期計）



メダル会員数と連動した売上高の拡大

- 人気機種「パワフルプロ野球」を100台導入（市場シェア約3割）
- 会員獲得のためのイベントを継続して実施
- 投資とイベントの相乗効果により売上が拡大



※2022年8月を基準
 ※売上が3か月の移動平均値



新規導入機種 パワフルプロ野球



メダルイベント

ポイントが貯まると商品と交換できる機能を付加した「マイよくばりパス」の開始

- 従来の「よくばりパス」から、新たな機能を付加した「マイよくばりパス」を活性化店舗4店舗、新店1店舗の計5店舗で実施。実施店舗の売上は20%程度の売上増



「マイよくばりパス」コーナー化した店内

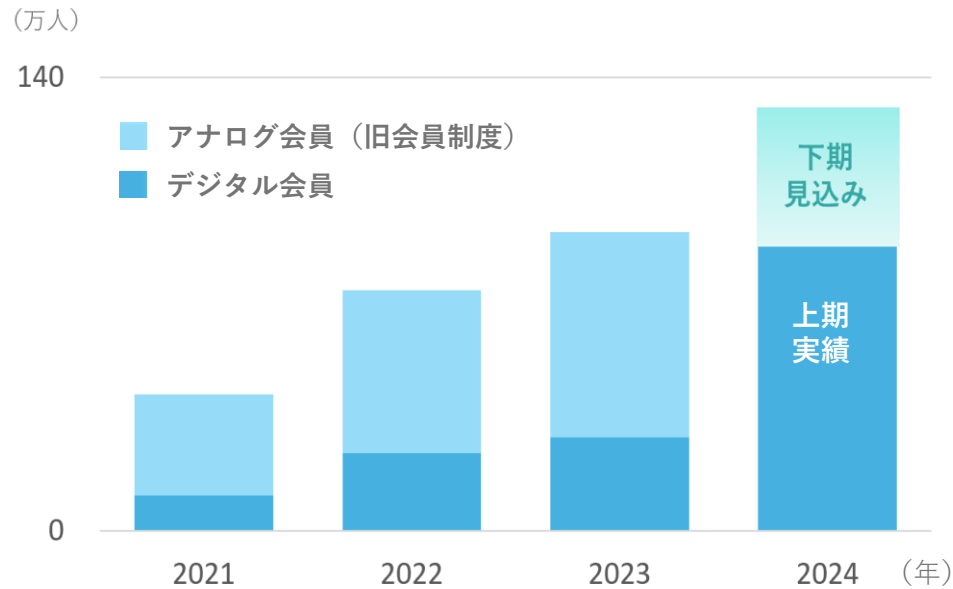


プレゼント品コーナー

新たなデジタル会員サービスの拡大

- 2024年度開始の新デジタル会員サービスにより、デジタル会員数が昨年までの29万名から上期で87万8千名と大幅増加

デジタル会員数の推移（年度）



イオンファンタジー公式LINE

- 旧会員制度モーリーフレンズDXからの移行を促す
- イベント情報やクーポンを配信
- 会員数約**583**千名（2024年8月末現在）



子育て応援アプリ「トットット」

- 0歳からの会員制度で「トットット」を卒業後も当社LINE会員への継続を促す
- 会員数約**295**千名（2024年8月末現在）



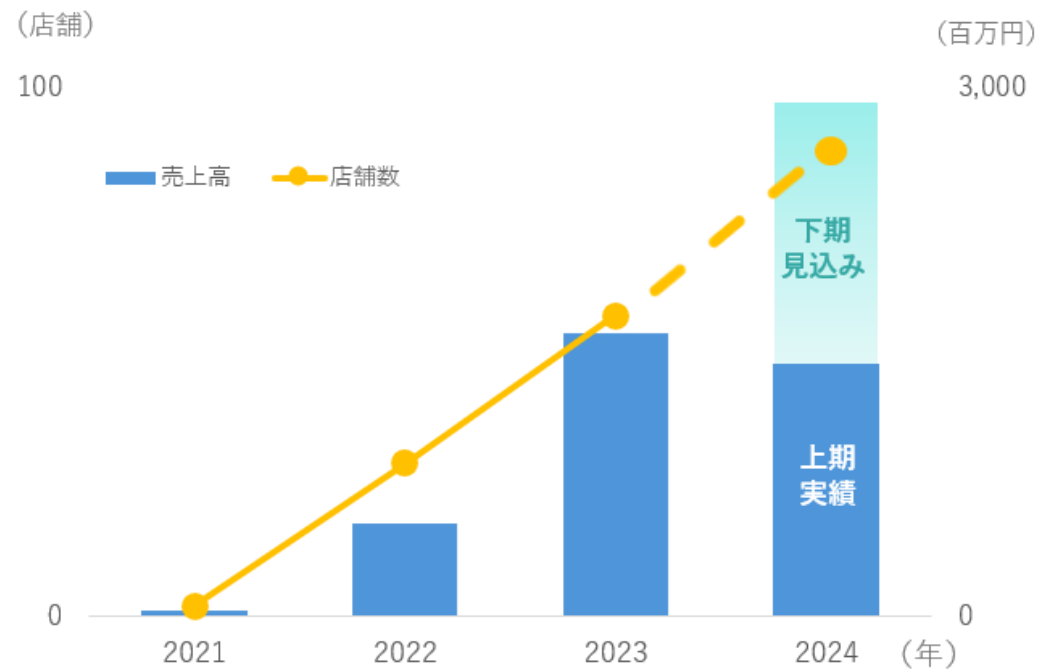
新たなエリアに対応した業態の出店が進む

	業態		エリア	屋号	出店数
プレイグラウンド	大型店	テーマ型	商業施設内 (専門店区画)	ちきゅうのにわ	2
	戦略的小型店	預かり機能専門店	商業施設内 (専門店区画)	スキッズガーデン	1
アミューズメント	標準店	従来型	商業施設内	モーリーファンタジー	1
	戦略的小型店	カプセルトイ専門店	商業施設内	TOYS SPOT PALO	27
			繁華街	カプセル横丁	3
		プライズ専門店	商業施設内	PRIZE SPOT PALO	11
			繁華街	クレーン横丁	2

繁華街エリアにプライズ専門店を出店

- ・ 従来型から繁華街向けに進化させた新業態「クレーン横丁」を出店
- ・ 繁華街の渋谷駅前・道頓堀・八王子駅前に出店。インバウンドに対応したキャッシュレスの導入
- ・ プライズ専門店は「PRIZE SPOT PALO」を含め13店舗出店

プライズ専門店売上高・店舗数推移（年度）

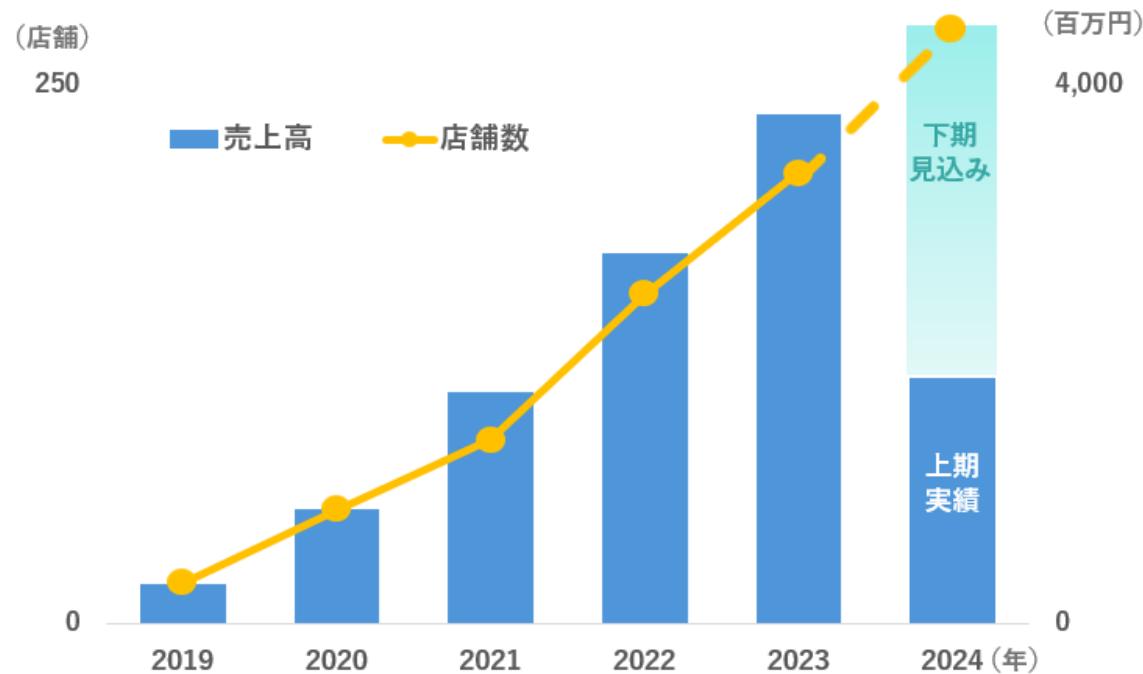


クレーン横丁道頓堀店

カプセルトイ専門店の新業態を3店舗出店

- ・ 繁華街向けに進化させた新業態「カプセル横丁」を出店
- ・ 「カプセル横丁」は従来型の3倍以上の売上
- ・ カプセルトイ専門店は「TOYS SPOT PALO」を含め30店舗出店

カプセルトイ専門店売上高・店舗数推移（年度）



浦和美園店



八王子店（クレーン横丁併設店舗）

大型プレイグラウンド「ちきゅうのにわ」の好調

- ・ 商業施設内エンターテインメントの核として開発。大型ショッピングモールの専門店区画への展開
- ・ コンセプトは「あそびながらちきゅうをまなぶ」こどもだけでなく保護者からも好評
- ・ 累計4店舗の売上高計画比は148.5%と好調。今後プレイグラウンドの核として拡大

 ちきゅうのにわ



沖縄ライカム店・広島府中店

2025年2月期 第2四半期（中間期）

重点取組み概要

2. 海外事業

アセアン

中国

アセアンの中間期売上・営業利益ともに3期連続で過去最高

（百万円）

	インドネシア		ベトナム		フィリピン		マレーシア		タイ		アセアン計		中国	
	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年
売上高	845	1,015	491	651	1,406	1,618	2,108	2,532	491	571	5,343	6,389	3,809	2,865
店舗利益	181	257	119	128	520	476	591	656	70	86	1,484	1,606	△ 145	△ 810
販管費	169	187	87	67	136	193	296	352	57	63	746	863	438	412
営業利益	12	69	32	61	384	282	295	304	12	23	737	742	△ 583	△ 1,222
売上高 前年同期比	+26.6	+20.1	+7.4	+32.5	+21.8	+15.0	+42.8	+20.1	+50.3	+16.4	+30.8	+19.6	+45.7	△ 24.8
既存店売上高 前年同期比	+3.5	△ 4.3	△ 10.1	△ 8.3	+7.2	△ 5.6	+41.2	+9.1	+39.1	+3.3	+19.0	+1.0	+39.3	△ 18.7

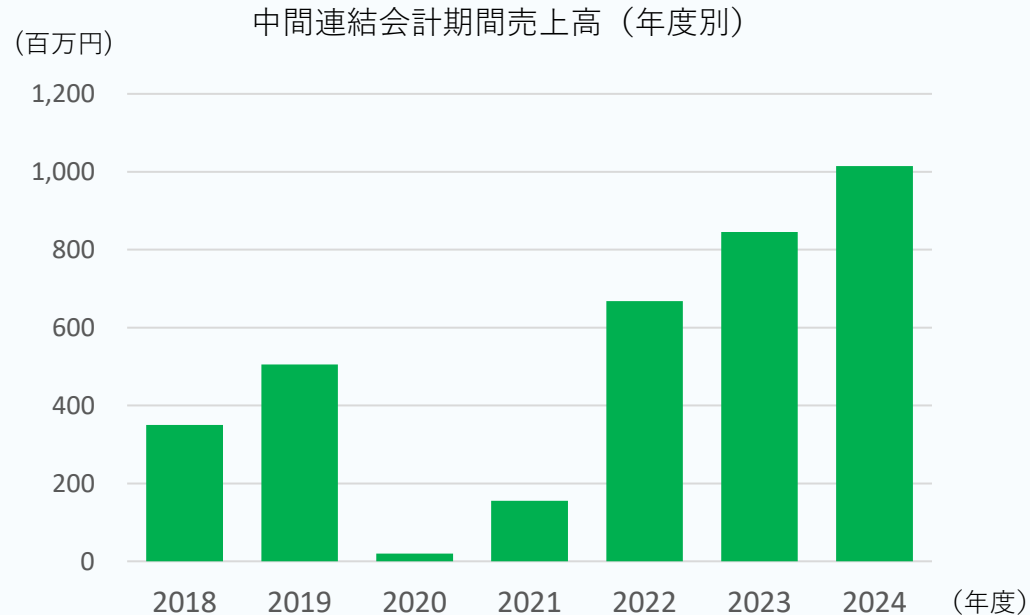
成長率重視

インドネシア

売上高前年同期比
120.1%

4 店舗出店 合計39店舗

- 大型プレイグラウンド「Kidzooona Safari」を出店
売上は計画を大きく上回る
- 「モーリーファンタジー」業態をデルタマスに出店し、
アミューズメントへ再進出。好調に推移

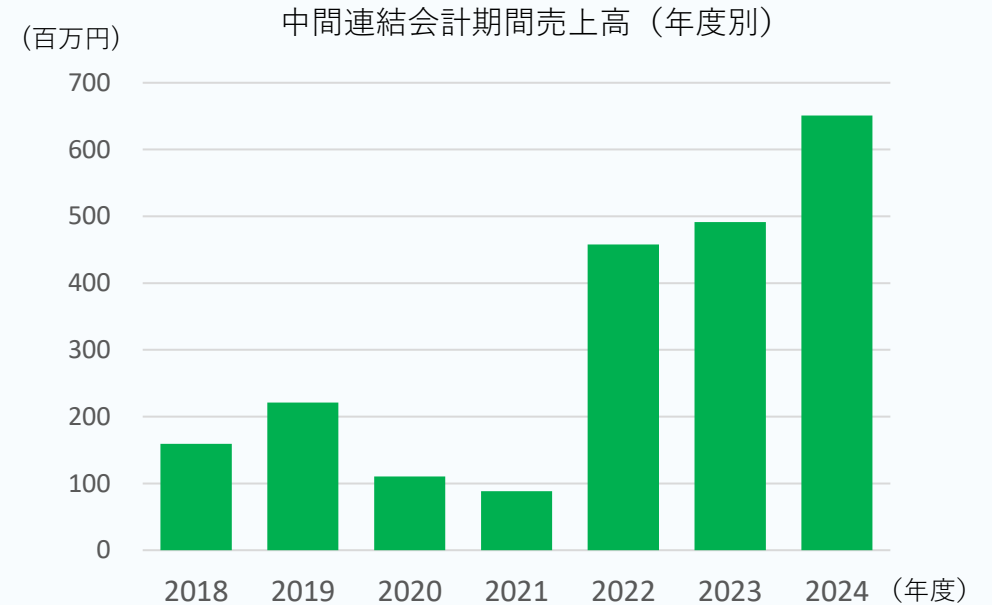


ベトナム

売上高前年同期比
132.5%

2 店舗出店 合計32店舗

- 昨年新店12店舗の好調もあり売上は大幅増
- アミューズメントにキッズメダルを導入し、売上好調
他店へも拡大



生産性向上

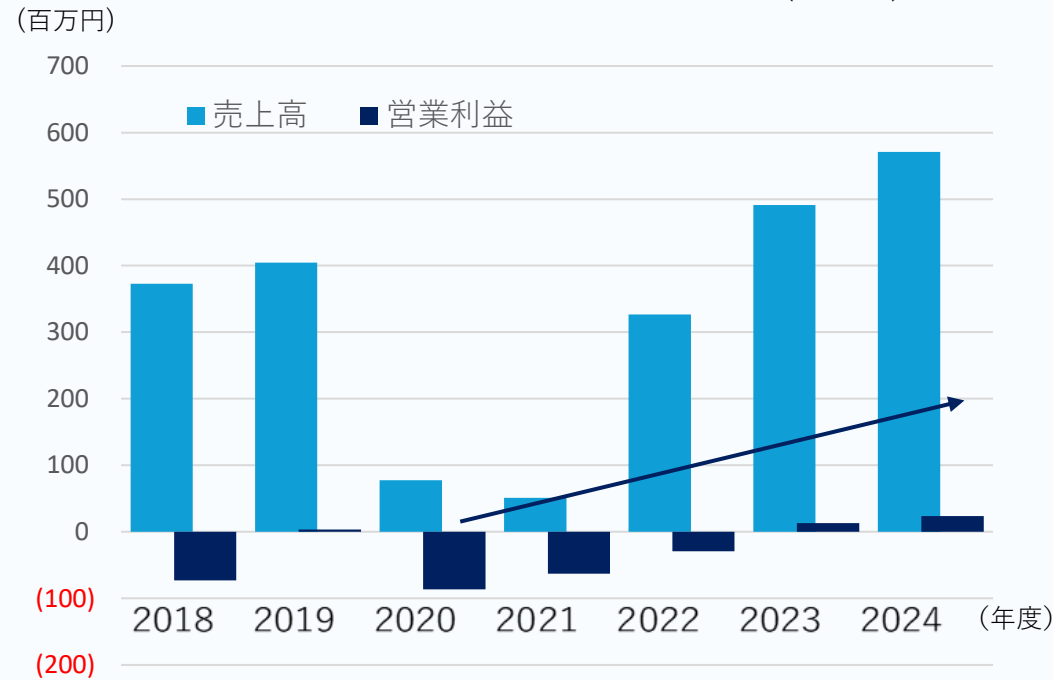
タイ

売上高前年同期比
116.4%

新店の成功と既存店の効率化により売上・営業利益ともに拡大

- 6店舗出店
- 「Tiny Mollyfantasy」「KID'S BOX」を出店し計画を大幅に上回る売上推移
- 既存店が堅調な売上を継続

中間連結会計期間売上高および営業利益（年度別）



Tiny Mollyfantasy/KID'S BOX Robinson Chalong店

シェア拡大重視

フィリピン



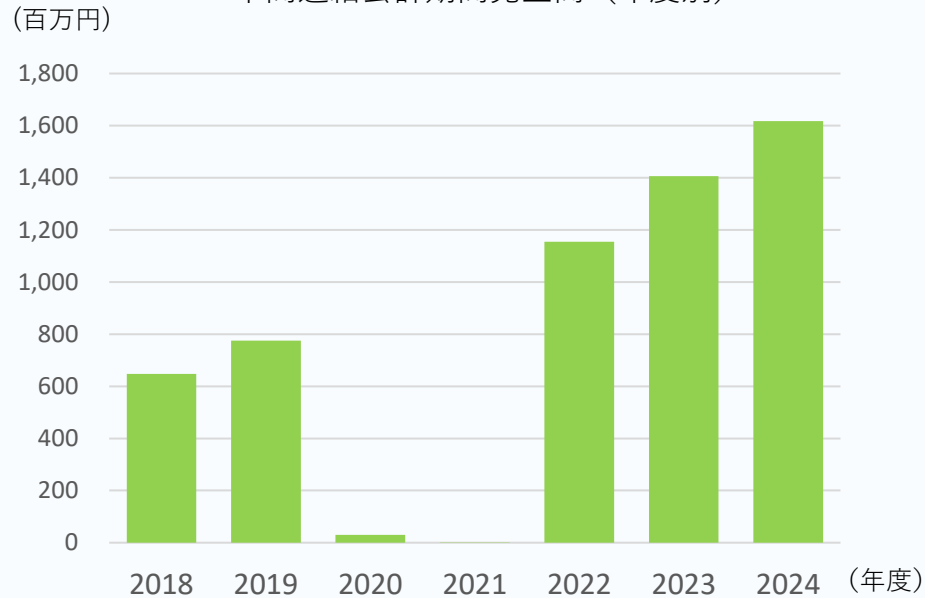
フィリピン国内
プレイグラウンド業界
シェア

売上高前年同期比
120.1%

新たなエリアへ進出

- 5店舗出店
- 既存店の堅調とともに、新たなエリアへ進出した新店が好調に推移

中間連結会計期間売上高（年度別）



マレーシア



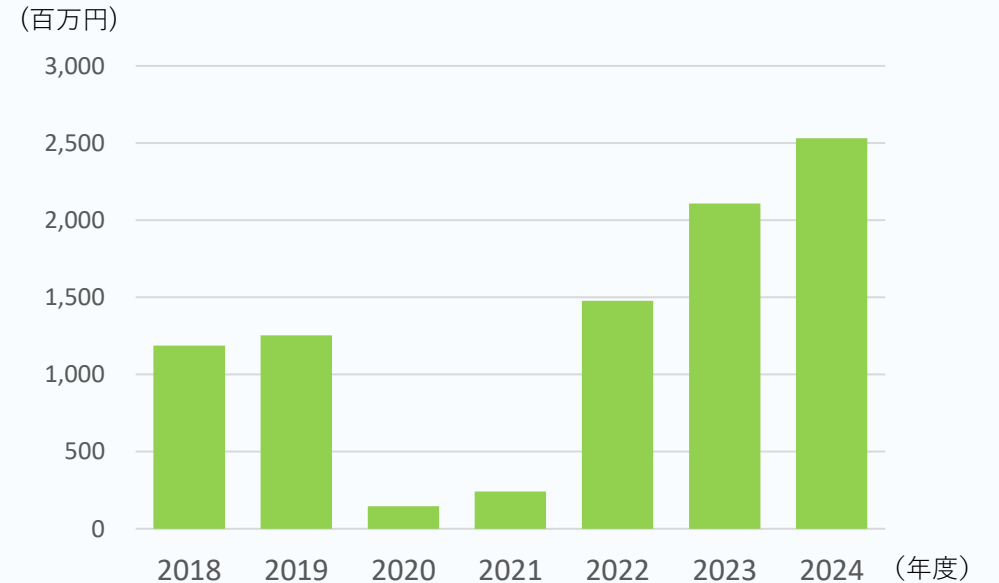
マレーシア国内
アミューズメント業界
シェア

売上高前年同期比
132.5%

既存店の伸びが継続

- 9店舗出店
- アミューズメントは、リデンプション部門を拡大し好調
- プレイグラウンドは、老朽化店舗の活性化を継続
- 新たなエリアへ進出した新店が好調に推移

中間連結会計期間売上高（年度別）



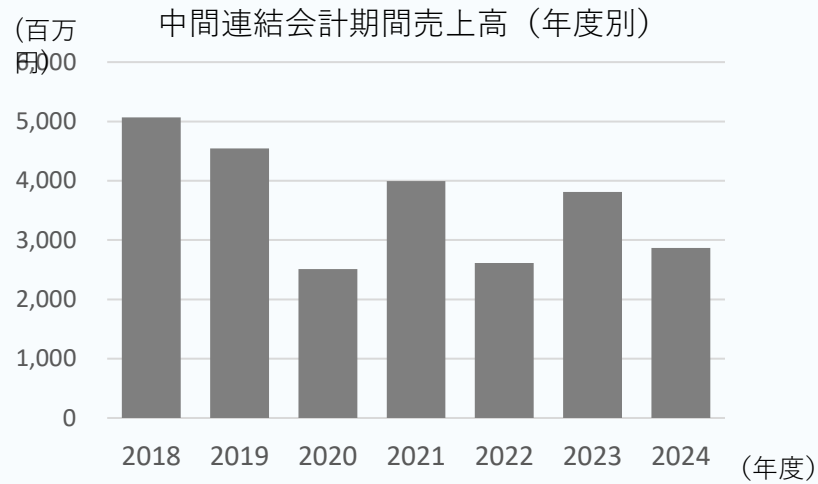
不採算店舗の整理

中国

売上高前年同期比
75.2%

経済活動の不透明感により売上回復が遅れる

- 現状の経済活動の不透明感から下期の売上計画を見直し、上期31店舗の閉店を含め、年間で50～60店舗の閉店を実施する。今年度で整理を終え、2025年度営業利益の黒字化を目指す
- 上期活性化したプレイグラウンド11店舗の売上は50%増と好調。アミューズメントの縮小、プレイグラウンドの拡大を急ぐ



活性化店舗の状況

重点取組み概要

3. サステナビリティの取組み

※当社の特長である「S」の取り組みを先頭に表示しています

こどもたちの未来への貢献 S

- 21年目を迎えた『ララちゃんが夢をおてつだいます!』では、全国2,667件の応募から選ばれた6つの夢を実現
- 運動会や行事のダンス曲にぴったりな「ラララ! トロピカーニバル!」を、応募のあった全国500カ所の幼稚園・保育園に無償提供



循環型社会への取り組み E

- 環境面及び社会面にポジティブなインパクトを生み出すことが期待される企業に対して行われる『ポジティブ・インパクト・ファイナンス』の実行
- 2024年4月22日(月)『アースデイ』より、アミューズメント店舗での景品袋無料配布を廃止し必要なお客さまへの販売を開始



ガバナンスへの取り組み G

- 「パートナーシップ構築宣言」の登録
- 「マルチステークホルダー方針」を公表



※当社の特長である「S」の取り組みを先頭に表示しています

こどもたちの未来への貢献

S

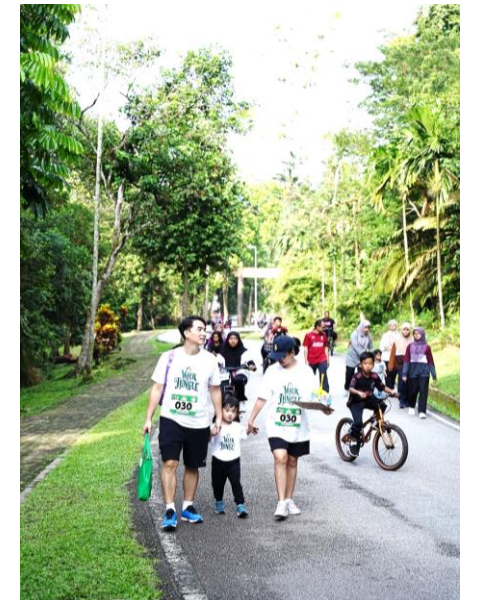
- イオンファンタジーマレーシア
家族と環境に親しむイベント「ジャングルウォーク・リサイクル・キャンペーン」「キッズ宝探し」を開催

“こどもたちに自然を体験させ、保存の重要性を理解させると同時に家族との絆を深めましょう”をテーマに、環境問題に関わる活動に参加しながらポイントを競うイベントを開催しました。合計122名が参加し、家族とや仲間との絆を深めながら環境問題に親しみました。

- イオンファンタジーフィリピン
マニラ市のTondo地域でプレイグラウンドを提供

継続的に実施しているCSR活動では、8月、普段はプレイグラウンドで遊ぶ機会の少ないこどもたちが多く暮らすマニラ市のTondo地域で3日間の仮設プレイグラウンドを設置。合計2,300名のこどもたちが集まり、家族や友だち、スタッフとたくさんのおそびに触れながらえがおの時間を過ごしました。

今後も自治体や福祉関連の団体との連携により、定期的の実施してまいります。



2025年2月期

2024年2月期

連結業績予想

連結業績予想

前回（2024年4月10日）公表数値より変更はございません

(百万円/%)

	2024年2月期 実績	2025年2月期 予想	前期比 増減率	前期比 増減額
売上高	81,758	86,700	6.0	+4,941
営業利益	3,585	5,700	59.0	+2,114
経常利益	4,488	4,200	△ 6.4	△ 288
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,314	1,600	21.7	+285
1株当たり当期純利益	+66.50円	+80.94円	—	+14.44円
1株当たり配当金	10.00円	10.00円	—	± 0.00円

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として、約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。



单体資料

国内事業の売上高 347億円、前年から9.4%増、営業利益は前年から 79.9%増

（百万円/%）

	2024年2月期 中間連結期間	2025年2月期 中間連結期間	前期比 増減率
売上高	31,792	34,776	9.4
売上総利益	4,046	5,716	41.3
販売管理費	2,182	2,365	8.4
営業利益	1,863	3,351	79.9
営業外損益	768	△ 186	—
経常利益	2,632	3,165	20.3
税引前中間純利益	1,375	1,518	10.4
中間純利益	463	477	3.0

国内の売上高既存店前年比は 106.6%（曜日調整後）

（2024年3月1日～2024年8月31日）

（単位：百万円、%）

	前期		当期		前年 同期比	既存店 前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比		
遊戯機械	26,139	82.2	28,942	83.2	110.7	108.4
商品（物販）	5,136	16.2	5,214	15.0	101.5	97.7
委託	53	0.2	70	0.2	132.1	—
その他	286	0.9	364	1.0	127.0	—
遊戯施設関係売上	31,616	99.4	34,592	99.5	109.4	106.6
その他売上高	176	0.6	183	0.5	104.1	104.4
売上高合計	31,792	100.0	34,776	100.0	109.4	106.6

国内事業第2四半期の売上高は186億3百万円、前年同期比110.1%

（百万円/%）

	2024年2月期								2025年2月期			
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		第1四半期		第2四半期	
	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率
売上高	14,902	+10.2	16,890	+13.6	14,842	+3.7	17,840	+10.6	16,172	+8.5	18,603	+10.1
売上総利益	1,307	+22.9	2,739	+62.0	1,490	+23.0	3,431	+42.8	2,086	+59.6	3,630	+32.5
販管費	1,103	+8.2	1,079	+16.5	1,102	+7.7	1,112	+11.6	1,203	+9.1	1,162	+7.6
営業利益	203	+362.6	1,659	+117.2	388	+106.4	2,318	+65.0	883	+333.5	2,468	+48.7
営業外損益	331	△ 53.7	436	△ 27.8	433	△ 255.5	469	+109.1	389	+17.5	△ 575	△ 231.8
経常利益	535	△ 29.6	2,096	+53.1	821	△ 1,006.3	2,788	+71.0	1,272	+137.7	1,892	△ 9.7
税引前利益	△ 300	—	1,675	+89.7	△ 963	△ 37.8	1,137	△ 175.8	△ 6	—	1,524	△ 9.0
四半期純利益	△ 508	—	971	+132.2	△ 1,275	△ 19.2	443	△ 122.5	△ 440	—	917	△ 5.6

貸借対照表（単体）

参考資料

（百万円/%）

	2024年2月期末		2025年2月期 中間期末		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	23,068	44.8	28,529	48.5	+5,460
固定資産	28,409	55.2	30,246	51.5	+1,837
資産合計	51,477	100.0	58,775	100.0	+7,298
流動負債	30,320	58.9	28,551	48.6	△ 1,768
固定負債	13,972	27.1	22,643	38.5	+8,671
負債合計	44,292	86.0	51,195	87.1	+6,902
純資産合計	7,184	14.0	7,580	12.9	+396
負債純資産合計	51,477	100.0	58,775	100.0	+7,298

	2024年2月期				2025年2月期				（%）
	第3四半期		第4四半期		第1四半期		第2四半期		
	売上高 構成比	既存 前年比	売上高 構成比	既存 前年比	売上高 構成比	既存 前年比	売上高 構成比	既存 前年比	
時間制遊具	3.6	120.6	3.7	117.0	4.1	103.5	4.3	102.8	
体感	5.1	104.2	5.0	104.7	5.2	98.4	5.0	104.1	
カード	10.2	92.9	8.2	92.2	8.7	88.8	6.8	81.5	
メダル	18.5	108.4	18.3	108.0	18.5	104.2	20.0	106.1	
プライズ	52.0	100.8	54.4	108.0	53.0	109.8	53.8	112.7	
シール	1.4	100.9	1.3	102.8	1.6	99.0	1.3	95.0	
カプセルトイ	6.5	126.8	6.7	130.8	6.7	122.1	6.7	114.3	
遊戯施設売上計	100.0	103.3	100.0	107.6	100.0	106.0	100.0	109.8	

(%)

国内計 前年同期比	9月	10月	11月	12月	1月	2月
前年比	104.0	105.6	105.3	107.0	107.6	112.5
国内計 前年同期比	3月	4月	5月	6月	7月	8月
前年比	109.9	106.3	105.5	111.1	106.9	107.5

